

15. テック・コミンコ社 (Teck Cominco Limited)

1. 企業概要

本社	カナダ Vancouver
主要事業〔鉱種〕	非鉄金属鉱山・製錬、原料炭〔Cu,Zn,Pb,Au,Ag,Mo,In,原料炭〕
従業員数	約 7,000 人
決算日	12 月末日
主要関連会社	<ul style="list-style-type: none"> • Teck Cominco Alaska Inc.(100 %) • Teck Cominco American Inc.(100 %) • Teck Gold Inc.(100%)

2. 財務状況 (mUS\$)

年度	2004	2003	2002
売上高 Revenues〔①〕	3,428	2,228	2,187
当期利益 Net earnings (loss)〔②〕	617	134	13
利益率〔③=②/①〕	18.0%	6.0%	0.6%
資産 Total assets	6,059	5,375	5,066
流動資産 Current assets	907	933	955
負債 Total liabilities	2,590	2,762	2,438
流動負債 Current liabilities	460	392	320
株主資本 Shareholder's Equity	3,221	2,427	2,454
探鉱費 Exploration Spending Totals ※	31.5	20.7	22.4

※探鉱費は Major Company Exploration Profile (Metals Economics Group 2005)による。

3. 主要鉱産物の生産・開発状況 〔※鉱山名(所在国,権益比率):生産量は権益分〕

年度	2004	2003	2002	04 年の世界シェア
銅鉱(kt)	248	176	202	1.7%(第15位)
Highland Valley(カナダ BC,97.5%)	158	109	116	※'04年1月権益増
Antamina(ペルー Ancash,22.5%)	81	57	74	
Louvicout(カナダ,25%)	8	10	11	
亜鉛鉱(kt)	619	665	714	6.8%(第1位)
Red Dog(米 Alaska,100%)	554	579	578	
Antamina(ペルー Ancash,22.5%)	43	82	52	
Pend Oreille(米,100%)	17			
Others	5	4	84	
亜鉛地金(kt)	413	412	362	4.1%(第6位)
Trail(カナダ BC,100%)	296	283	269	
Cajamarquilla(ペルー,85→0%)	117	129	93	※'04年12月売却
鉛鉱(kt)	119	125	126	3.7%(第4位)
Red Dog(米 Alaska,100%)	117	125	108	
Pend Oreille(米,100%)	2			
鉛地金(kt) Trail(カナダ BC,100%)	84.3	87.8	80.7	1.2%(第6位)
モリブデン鉱(t)	5,280	2,240	1,742	3.5%(第5位)
Highland Valley(カナダ BC,97.5%)	4,473	2,121	1,575	※'04年1月権益増
Antamina(ペルー Ancash,22.5%)	807	119	167	
金鉱(t)	8.1	8.7	8.9	
Hemlo(カナダ Ontario,50%)	7.7	8.3	8.4	
Others	0.4	0.4	0.5	
銀地金(t) Trail(カナダ BC,100%)	613	569	551	
インジウム(t) Trail(カナダ BC,100%)	19.7	18.3	17.7	
原料炭(mt)	10.6	8.7	6.9	

4. 沿革

Teck 社の前身である Teck-Hughes Gold Ltd.社は、当初金鉱床開発を目的として設立された。その後、合併・買収により事業規模を拡大、銅、亜鉛、ニオブなどの非鉄金属のほか、石炭にも事業対象を広げ、総合資源企業として現在に至っている。

1913 年・Ontario 州 Kirkland Lake において Teck-Hughes 金鉱床が発見され、その開発を目的として Teck-Hughes Gold Ltd.社が設立された。Teck は金鉱床の所在地名、Hughes は鉱床発見者の名前に由来する。

1934 年・Lamaque 鉱山が、同社 2 番目の鉱山として操業を開始した。

1963 年・8 月、Teck-Hughes Gold Ltd.社は、Lamaque 鉱山の事業主体であった Lamaque Gold Mines Ltd.社(1937 年設立)及び Canadian Devonian Petroleum Ltd.社(1951 年設立)を合併し、社名を Teck Corp Ltd.社とした(78 年、カナダ会社法の改定に伴い Teck Corp として登録)

1975 年・Newfoundland(亜鉛、ニオブ)、Afton(銅)、Highmont(銅、モリブデン)の各鉱山を相次いで開発し、金以外にも対象鉱種を広げた。

1979 年・Brameda Resources Ltd.社、The Yukon Consolidated Gold Corp.社を合併した。

1981 年・Afton Mines Ltd.社を統合した。

1983 年・Copperfields Mining Corp.社を合併するなど、合併、買収、資本参加による事業拡大を図っている。

1986 年・Teck 社を中心とした、MG 社(Metallgesellschaft AG:ドイツ)、MIM 社(豪州)を含むコンソーシアムが、経営の悪化していた Cominco 社の権益を Canadian Pacific Enterprise 社から買収、世界的な鉛・亜鉛の権益を保有するに至った。

1990 年代初め・MG 社が経営破綻したことによって資本提携関係は解消された。

2000 年・Cominco 社に対する出資比率を 50.1 %に引き上げた。

2001 年・7 月には合併して Teck Cominco 社となった。

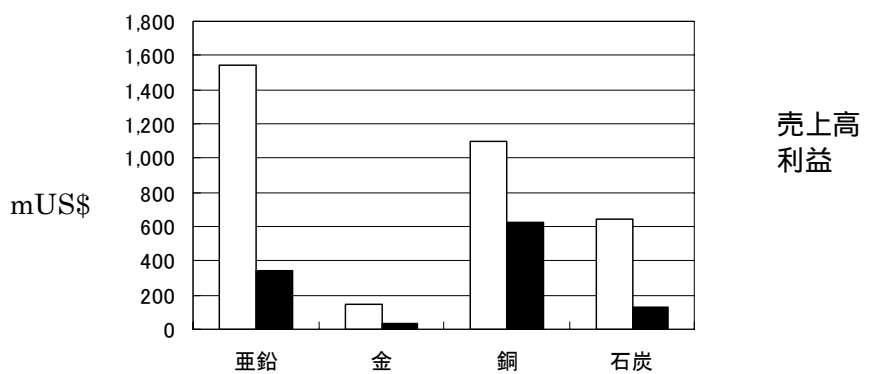
2004 年・1 月、BHP Billiton 社との JV であった Highland Valley 鉱山の BHP Billiton の権益 33.57% を 80mUS\$で買収し、権益を 97.5%とした。

- ・2 月、Trail 製錬所の鉛製錬炉の爆発により、鉛生産が停止し、鉛の年間生産量が 03 年に比べ減少した。

- ・12 月、Cajamarquille 製錬所(ペルー)を Votorantim 社(ブラジル)に 217mUS\$で売却。

5. 事業内容

Teck Cominco 社の事業は、金、亜鉛、銅、石炭の 4 グループに分けられる。Teck 社と Cominco 社の合併前は、Teck 社の売上高に占める割合は金が多かったが、Cominco 社との合併で、売上高にベースメタルの占める割合が最も高くなった。



(1) ベースメ

2004 年部門別売上高と利益

タル

① 亜鉛・鉛

Red Dog 鉱山(米国 Alaska 州)、Antamina 銅鉱山(ペルー Ancash 県)に権益を保有する。また、

Pend Oreille 鉱山(亜鉛・鉛)が 2003 年末に完成し、2005 年には生産計上できる見込みである。

また、Trail 製錬所(カナダ BC 州)、Cajamarquilla 製錬所(カハマルキージャ、ペルー)に権益を保有し、亜鉛地金などを生産している。

2004 年 権益保有亜鉛鉱山の埋蔵量(Proven+Probable)と生産量

オペレーション名	権益(%)	鉱量(mt)	品位(%)	採掘タイプ	生産量(kt) (権益分)
Red Dog(米)	100	75.6	17.9 Zn	OP	554 Zn
			4.7 Pb		117 Pb
Antamina(ペルー)	22.5	468	1.0 Zn	OP	173 (39) Zn
			0.03 Pb		8.8 (2.0) Pb
Pend Oreille(米)	100	5.3	7.5 Zn	OP	-
			1.2 Pb		-

2004 年 権益保有亜鉛製錬所による地金生産

オペレーション名	権益(%)	地金生産量(kt) (権益分)
Trail 製錬所(カナダ)	100	296 Zn
		84 Pb
Cajamarquilla 製錬所(ペルー)※	85→0	138 (117) Zn

(※2004 年 12 月、Votorantim 社(ブラジル)に 217mUS\$で売却済み)

- Red Dog 鉱山は埋蔵量・精鉱生産量とも世界最大の亜鉛鉱床で、1968 年に発見され、90 年に Cominco 社により生産が開始された。
- 米国 Washington 州北東部に位置する Pend Oreille(ペント・オレイリー)鉛・亜鉛鉱山は、粗鉱生産量 730kt/年、亜鉛精鉱生産量 83kt/年、鉛精鉱生産量 13kt/年が見込まれており、2005 年以降 8 年間にわたって Trail 製錬所に鉱石を供給する見通しである。
- 2003 年 11 月、休止していた豪州の Lennard Shelf(レナード・シェルフ)亜鉛・鉛鉱山を買収した。2004 年には採鉱を実施。

Lennard Shelf 亜鉛・鉛鉱山

資源量(mt: Measured+Indicated+Inferred)	品位 Zn(%)	Pb(%)	含有量 Zn(kt)	Pb(kt)
3.1	8.426	1.971	261	61

- Cajamarquilla 製錬所は、1994 年にペルー政府から買収したものである。この際、丸紅(株)が 17%の権益を取得した(2003 年末時点の権益比率: Teck Cominco 85%、丸紅 14%、労働者 1%)。1998 年第 2 四半期に第一期拡張工事が完了し、亜鉛地金生産能力は 20%増の 120kt となった。なお、本製錬所は 2004 年 12 月、Votorantim 社(ブラジル)に 217mUS\$で売却している。
- 2004 年 2 月、Trail 製錬所の鉛製錬炉の爆発により、鉛生産が停止し、鉛の年間生産量が 2003 年に比べ減少した。

② 銅

Highland Valley(カナダ BC 州)、Louvicourt(カナダ Quebec 州)、Antamina(ペルー Ancash 県)の各鉱山に権益を保有する。

2004 年 権益保有銅山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益(%)	鉱量(mt)	品位(%)	採掘タイプ	生産量(kt)(権益分)
----------	-------	--------	-------	-------	--------------

Highland Valley (カナダ)	97.5	166.5	0.43 Cu	OP	170(166) Cu
			0.007 Mo		4.9(4.7) Mo
Louvicourt (カナダ)	25	0.6	2.43 Cu	UG	19(5) Cu
			1.9 Zn		15(4) Zn
Antamina (ペルー)	22.5	468	1.22 Cu	OP	362(81) Cu

- Highland Valley 鉱山は BHP Billiton 社との JV であったが、2004 年 1 月に BHP Billiton 社の権益 33.57%を買収し、権益を 97.5%とした。銅の他にモリブデンを産する。

(2) 金

Teck Cominco 社は、Hemlo 金鉱山(カナダ Ontario 州)に権益を保有する。

2004 年 権益保有金山の埋蔵量と生産量

オペレーション名	権益(%)	鉱量(mt)	品位 Au(g/t)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Hemlo(カナダ)	50	25.3	3.1	UG/OP	15.4 (7.7)

- Hemlo 鉱山は Teck Cominco 社と Barrick Gold 社の合弁で運営されており、Ontario 州の Hemlo 地区にある。Hemlo 鉱山は Williams (露天掘、坑内掘)と David Bell(坑内掘)からなり、Williams は露天掘が主力である。David Bell は鉱量が比較的小さいが品位が Au10g/t と高い。
- 坑内採掘と選鉱場の建設が計画されている Pogo 鉱山(米 Alaska)に 40%の権益を所有(60%の権益は住友金属鉱山(株)が所有)しており、2004 年に EPA からの許可が得られ、企業化の計画が進行中である。2004 年末時点の埋蔵量(Probable)は 7mt、品位 Au16.12g/t。

6. 探鉱戦略

(1) 概要

Teck Cominco 社の探鉱活動は、本社ヴァンクーヴァーが中心となり、カナダ及び米国はじめ、メキシコ、ペルー、チリ、ブラジル、豪州、トルコ、ナミビアなど 10 箇所に探鉱事務所を設置して行われている。同社は、柔軟かつ開かれた探鉱活動を方針としており、自社探鉱だけでなく、多くのメジャー企業あるいはジュニア・カンパニーと共同で探鉱活動を実施している。

同社の 2004 年の探鉱費は 42mUS\$であり、予算 26.3mUS\$を大幅に超過した。これは主要非鉄金属企業中第 14 位である。

(2) 対象鉱種

Teck Cominco 社は銅、金、亜鉛、ダイヤモンド、ニッケルを主な探査ターゲットにしており、この順に探鉱予算が振り分けられている。

(3) 対象地域・探鉱段階

2004 年の Teck Cominco の探鉱費は 42mUS\$であり、中南米地域に約 43%の予算を充てているほか、北米に約 33%の予算を充てている。探鉱段階ではグラスルーツに 23.3mUS\$(89%)、事業化調査に 1.9mUS\$(7%)、鉱山周辺調査に 1.1mUS\$(4%)が充てられている。

(北米)

- カナダでは、ダイヤモンド、金及びベースメタルを対象にグラスルーツ探鉱を実施している。

・Red Dog 周辺探鉱

Anarraaq 北部地域での試錐結果で着鉱幅 35m・品位 Zn14.7%。05 年も探鉱継続。

•Victoria 島の Blue Ice ダイヤモンド・プロジェクト

権益 30%を取得しており、2004 年には電磁探査が行われている。2004 年、新規に Kimberlite2 鉱体を発見し、King Eider 鉱体における試錐にて 100m の着鉱を得て、05 年には物理探査と試錐調査を継続する。

•Pogo 金プロジェクト(米 Alaska 州)

Teck Cominco40%、住友金属鉱山株60%の J/V で開発中である。
埋蔵鉱量(Probable)7mt、品位 Au16.12g/t、金量113t。年産金量 12.4t/年の開始は 06 年第 1 四半期の予定。

(中南米)

金探鉱を、メキシコ、ペルー、チリ、アルゼンチンで実施中。

•Morelos Norte(El Limon、メキシコ・シティ南西)

注目すべき成果としてメキシコの Morelos Norte(El Limon)がある。同社の権益は 78%でパートナーは Wheaton River Minerals である。予想資源量(金量)99.5t、品位 3.3g/t(Cut-off 0.7g/t)

銅探鉱を、チリ、ペルー南部、メキシコ北部で実施中。

•Zafranal(ペルー南部)斑岩銅鉱床

同社が 100%の権益を有する。試錐結果は、着鉱幅 110m・品位 Cu1.25%、同 250m・0.7%(同高品位部:77m・1.75%)等。

亜鉛探鉱をメキシコで実施中。

•San Vicente(メキシコ)

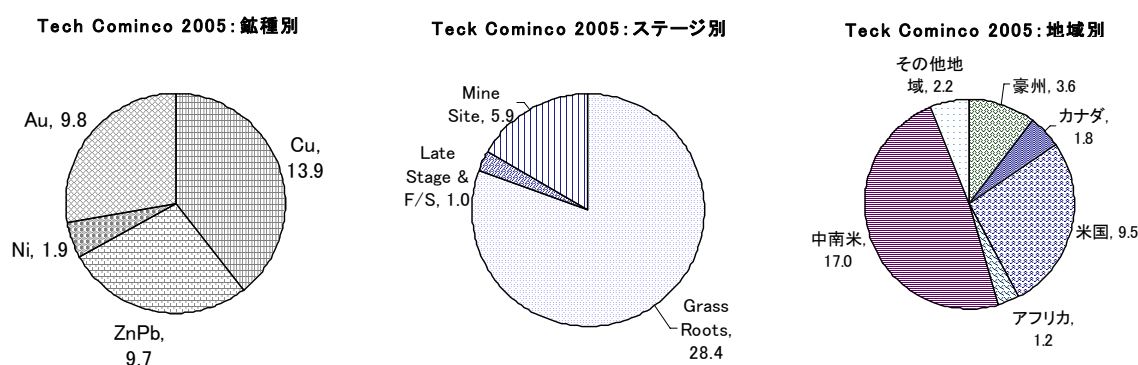
試錐結果:着鉱幅 20m・品位 Zn32%

(豪州)

金とベースメタルを対象として探査を行っている。

•Lennard Shelf(西豪州,50%)

Palijippa 地区における試錐結果: 着鉱幅 10.5m・品位 Zn11%。05 年も探鉱継続。



2005 年の探鉱予算状況: Teck Cominco [35.3mUS\$]

(出典:Major Company Exploration Profile (Metals Economics Group 2005))

※注:探鉱費 39.3mUS\$からダイヤモンドの探鉱予算 4.0mUS\$を差し引いた。